

製品名: SNAP29 (10N2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18048**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:100, FC 1:20-1:50, IP 1:20-1:50
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	SNAP29
別名	CEDNIK; SNAP29;
遺伝子 ID	9342.0
SwissProt ID	O95721
免疫原	ヒト SNAP29 の合成ペプチド

背景

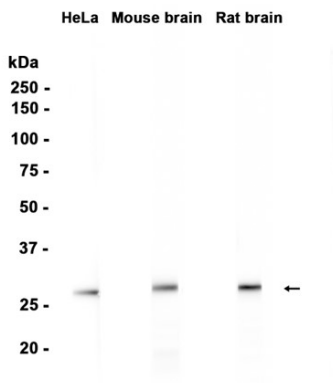
複数の膜輸送段階に関与する。可溶性 N-エチルマレイミド感受性因子接着タンパク質受容体 (SNARE) は、細胞膜の融合に必須のタ

ンパク質である。対向する膜に局在する SNARE は、集合してトランス SNARE 複合体を形成する。これは、膜融合を促進する 4 つの α ヘリックスが平行に伸びた構造である。SNAP29 は、オートファゴソームとリソソーム膜の融合を直接制御することでオートファジーに關与する SNARE である。また、膜融合を制御することで繊毛形成にも關与する。

研究分野

神経科学

画像データ



SNAP29 (10N2) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa 細胞、マウス脳、ラット脳組織からの抽出物をウェスタンブロット分析しました。